

令和6年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

春はあけぼの。やうやう白
くなりゆく山際、少しあか
りて、紫だちたる雲の細く
たなびきたる。夏は夜。月の
頃はさくらなり。闇もなほ、螢
のおほく飛びちがひたる。

学年

氏名

中一・二・三

各学年を選んで下さい。

課題解説

平安時代中期に、宮中に仕えた清少納言せいしょうなごんによって書かれた平安時代の著名な随筆ずいひつ『枕草子』まくらのそうしの一部です。『枕草子』は清少納言がいろいろなものに感じた思しいをつづつたエッセイ。全体で約300の章で構成されています。「春はあけぼの・・・」はその書き出しとして有名です。

(課題文は「書文協ことば会議」選定・創作)